

1 単元名 店ではたらく人としごと

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性等
・消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどについて、見学・調査し、必要な情報を集め、販売に携わっている人びとの様子を理解している。 ・調べたことを文や新聞にまとめ、販売の仕事は消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるように工夫して行われていることを理解している。	・消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、問いを見いだし、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え、表現している。 ・調べたことをもとに、比較・分類したり関連づけたりして、販売の仕事に見られる工夫を考え、文や、新聞などにまとめたことを基に説明している。	・地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立てたり学習を振り返ったりして、学習問題を追及し、解決しようとしている。

3 教材のとらえ

本単元は、買いもの調べやスーパーマーケットの見学を通して、販売の仕事は、消費者の様々な願いを踏まえて、売り上げを高めるように工夫をしていることを理解したり、消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して販売に携わっている人たちの仕事に見られる工夫を考え、表現したりすることをねらいとしている。

前学習指導要領では、販売の仕事が自分たちの生活を支えていることを学ぶことになっていたが、現学習指導要領では、「売り上げを高める」ことがあえて強調されている。「売り上げを高める=大勢のお客さんを呼ぶ」仕組みをしっかりと捉えさせたい。そこで、今回は、「だめだめスーパーさくらいを人気店にしよう。」という単元をつらぬく問いを設定した。だめなパターンのソーシャルモデルを示すことで、見学させてもらう〇百貨店の工夫や努力を際立たせ、再建計画を考えることで消費者や販売者の思いに気づかせたい。

見学の際には、調査活動の視点を明確にして必要な情報を調べてまとめる技能を身につけさせ、まとめの際には、考えたことを表現する力を養い、今後の社会科の学習につなげていきたいと考えている。



4 本時の指導案

本時の目標「スーパーマーケットの販売以外の取り組みについて自分なり考えもち、地域の中の店としての役割を果たし、地域からの信頼をえる工夫について捉える。」

本時の学習

学 習 活 動	教 師 の 支 援
1. 前時までの学習の振り返りと本時の問いの確認をする。	○リサイクルコーナーの写真資料を提示し、販売や売り上げとは、直接関係のない取り組みに気づかせる。
売り上げに直接関わらない工夫って何のためにしているの？	
2. 自分の考えをもつ	○環境以外の取り組み資料も紹介し、多面的に考えられるようにする。 ○自分の考えをもつ時間を確保する。
3. グループで交流→全体で交流をする。 ・災害の時に無料で食べ物がもらえるのは、ありがたいね。 ・地震があった時にお客さんを助けられるようにしているのかな。 ・リサイクルボックスを設置して、お店に来たついでにゴミを捨てられるからいいよね。 ・リサイクルすると環境のためになるよね。 ・色々なカートがあるのは、色々なお客さんがいるからだね。 ・小さい子がいるお客さんも買い物がしやすいね。	○全体での発表の前にグループで発表する時間を設け、発表が苦手な子でも自分の考えを表出する機会を持たせる。 思考・判断・表現 売り方以外のスーパーマーケットの工夫について知り、その理由について自分なりの考えもち、表現することができている。 (発言・ノート)
4. ○百貨店U店長の資料を読む。 ・どんな人でも利用しやすくしているんだね。 ・地域に貢献することで、地域に住む人から信頼される店づくりを行っている。 ・何かあった時にも○百貨店に行けばと思うと安心するよね。	○U店長の「地域のため」という一言を取り上げ、地域のための取り組みがなぜ大切な工夫となるのかを考えさせる。
5. 今日の学習のふりかえりをする。 ・売り上げを伸ばす工夫も大切だけど、直接売り上げに関係のない工夫も大切なことがわかった。 ・誰でも利用しやすくして安心できるお店づくりが大切だとわかった。スーパーさくらいでも取り入れたい。	○U店長の話を提示することで、環境や地域貢献をしていることに気づき、学習のまとめの記述に生かすことができるようにする。